教　科 保健体育	科目　保健	（必修）	授業時数　１　単位 履修学年　１　学年

目　標	「現代社会と健康」では，健康の考え方，現代の感染症とその予防，生活習慣病などの予防と回復，喫煙，飲酒，薬物乱用と健康，精神疾患の予防と回復について，「安全な社会生活」では，安全な社会づくり，応急手当について理解するとともに，課題を見つけ，その解決に向けて考え，表現できるようにする。

●学習内容

１学期	１２時間	２学期	１５時間	３学期	１２時間
１単元　現代社会と健康	12	１単元　現代社会と健康	15	１単元　現代社会と健康	4
01. 健康の考え方と成り立ち		07. 食事と健康		17. 性感染症・エイズとその予防	
02. 私たちの健康のすがた		08. 休養・睡眠と健康		18. 健康に関する意思決定・行動選択	
03. 生活習慣病の予防と回復		10. 喫煙と健康		19. 健康に関する環境づくり	
04. がんの原因と予防		11. 薬物乱用と健康			
05. がんの治療と回復		12. 精神疾患の特徴		2 単元　安全な社会生活	8
06. 運動と健康		13. 精神疾患の予防		01. 事故の現状と発生要因	
		14. 精神疾患からの回復		02. 安全な社会の形成	
		15. 現代の感染症		03. 交通における安全 04.	
		16. 感染症の予防		04. 応急手当の意義とその基本	
				05. 日常的な応急手当	
				06. 心肺蘇生法	

09.

教材
使用教科書: 現代高等保健体育(50　大修館　保体 701) 副教材: 現代高等保健体育ノート

授業の進め方
・座学形式の授業を行う。 ・教科書・保健ノートを使用して基礎知識を深めていく。

●評価規準（身に付ける力）

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	個人及び社会生活における健康・安全について理解している。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断できる。	生涯を通じて自他の健康の保持促進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
評価方法		・授業中の対話およびペーパーテストにおける基本的な知識・技能に関する結果	・授業中の対話およびペーパーテストにおける基本的な思考、判断、表現に関する結果 ・課題への取り組み	・授業中の発言内容や行動観察 ・授業や課題への取り組み姿勢

単元別　評価規準

1　現代社会と健康

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解し，技能を習得している。	個人生活や社会生活における健康･安全について，課題を見つけ，その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え，表現している。	個人生活や社会生活における健康･安全について関心をもち，学習に進んで取り組んでいる。

教　科 保健体育

科目	体育	（必修）	授業時数　1　単位 履修学年　1　学年

目　標	各種スポーツに取り組み、技能の向上、仲間との協調性を高め、自ら意欲的に課題解決できる能力を高め、生涯を通じて継続的に運動に親しむことができるようにする。

●学習内容

１学期　１２時間		２学期　１５時間		３学期　１２時間	
○オリエンテーション ○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル･卓球 ソフトテニス・キャッチボール等	12	○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル・卓球 ソフトテニス・キャッチボール等） ○校外の体育施設における体験的授業	13 2	○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル・卓球 ソフトテニス・キャッチボール等） ○校外の体育施設における体験的授業	10 2

教材

授業の進め方
･体育館にてバスケットボール、バトミントン、卓球、フットサル、ソフトテニス等の体つくり運動によって、体力の向上と協調性を図る

●評価規準（身に付ける力）

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度

評価規準	（身に付ける力）	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価方法		授業に取り組む姿勢や意欲・態度 を総合的に判断する。	授業に取り組む姿勢や意欲・態度を総合的に判断する。	授業に取り組む姿勢や意欲・態度 を総合的に判断する。

単元別　評価規準

１　体つくり運動

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	体つくり運動に自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保することを理解している。

２　選択種目

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	各種目について、記録向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。	各種目の自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとしている。

３　校外の体育施設における体験的授業

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	記録向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、などを理解している。	運動を通して自己や仲間との課題を発見し、身体を動かすことでのコミュニケーション方法を理解している。	自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとしている。
		※この単元の評価については、教科担当者だけでなく、職員全員の総合的な評価を行う。		

教　科 保健体育	科目　保健	（必修）	授業時数　１　単位 履修学年　２　学年

目　標	「生涯を通じる健康」では，生涯の各段階における健康，労働と健康について，「健康を支える環境づくり」では，環境と健康，食品と健康，保健・医療サービスおよび医薬品の制度とその活用，さまざまな保健活動や社会的対策，健康に関する環境づくりと

	社会参加について理解するとともに，課題を見つけ，その解決に向けて考え，表現できるようにする。

●学習内容

１学期	１２時間	２学期	１５時間	３学期	１２時間
３単元　生涯を通じる健康 01. ライフステージと健康 02 思春期と健康 03. 性意識と性行動の選択 04. 妊娠・出産と健康 05. 避妊法と人工妊娠中絶 06. 結婚生活と健康	12	１単元　現代社会と健康 07. 中高年期と健康 08. 働くことと健康 09　労働災害と健康 10. 健康的な職業生活 4 単元　健康を支える環境づくり 01. 大気汚染と健康 02. 水質汚染，土壌汚染と健康 03. 環境と健康にかかわる対策 04. ごみの処理と上下水道の整備	7 8	4 単元　健康を支える環境づくり 05. 食品の安全性 06. 食品衛生にかかわる活動 07. 保健サービスとその活用 08. 医療サービスとその活用 09. 医薬品の制度とその活用 10. 10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加	12

09.

教材
使用教科書: 現代高等保健体育(50　大修館　保体 701) 副教材: 現代高等保健体育ノート

授業の進め方
・座学形式の授業を行う。 ・教科書・保健ノートを使用して基礎知識を深めていく。

●評価規準（身に付ける力）

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	個人及び社会生活における健康・安全について理解している。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断できる。	生涯を通じて自他の健康の保持促進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
評価方法		・授業中の対話およびペーパーテストにおける基本的な知識・技能に関する結果	・授業中の対話およびペーパーテストにおける基本的な思考、判断、表現に関する結果 ・課題への取り組み	・授業中の発言内容や行動観察 ・授業や課題への取り組み姿勢

単元別　評価規準

１　現代社会と健康

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解している。	個人生活や社会生活における健康・安全について，課題を見つけ，その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え，表現している。	個人生活や社会生活における健康・安全について関心をもち，学習に進んで取り組んでいる。

教　科 保健体育	科目	体育	（必修）	授業時数　２　単位 履修学年　２　学年

目　標	各種スポーツに取り組み、技能の向上、仲間との協調性を高め、自ら意欲的に課題解決できる能力を高め、生涯を通じて継続的に運動に親しむことができるようにする。

●学習内容

１学期　　１２時間		２学期　　１５時間		３学期　　１２時間	
○オリエンテーション ○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル･卓球 ソフトテニス・キャッチボール等	12	○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル・卓球 ソフトテニス・キャッチボール等） ○校外の体育施設における体験的授業	13 2	○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル・卓球 ソフトテニス・キャッチボール等） ○校外の体育施設における体験的授業	10 2

教材

授業の進め方
・体育館にてバスケットボール、バトミントン、卓球、フットサル、ソフトテニス等の体つくり運動によって、体力の向上と協調性を図る

●評価規準（身に付ける力）

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するため	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポ

			の計画を工夫している。	ーツライフの設計の仕方を理解している。
評価方法		授業に取り組む姿勢や意欲・態度 を総合的に判断する。	授業に取り組む姿勢や意欲・態度を総合的に判断する。	授業に取り組む姿勢や意欲・態度 を総合的に判断する。

単元別　評価規準

１　体つくり運動

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	体つくり運動に自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保することを理解している。

２　選択種目

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	各種目について、記録向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。	各種目の自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとしている。

３　校外の体育施設における体験的授業

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	記録向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、などを理解している。	運動を通して自己や仲間との課題を発見し、身体を動かすことでのコミュニケーション方法を理解している。	自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとしている。
		※この単元の評価については、教科担当者だけでなく、職員全員の総合的な評価を行う。		

教　科 保健体育	科目	体育	（必修）	授業時数　２　単位 履修学年　３　学年

目　標	各種スポーツに取り組み、技能の向上、仲間との協調性を高め、自ら意欲的に課題解決できる能力を高め、生涯を通じて継続的に運動に親しむことができるようにする。

●学習内容

１学期　　１２時間	２学期　　１５時間	３学期　　１２時間

○オリエンテーション ○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル･卓球 ソフトテニス・キャッチボール等	12	○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル・卓球 ソフトテニス・キャッチボール等） ○校外の体育施設における体験的授業	13 2	○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル・卓球 ソフトテニス・キャッチボール等） ○校外の体育施設における体験的授業	10 2

教材

授業の進め方
・体育館にてバスケットボール、バトミントン、卓球、フットサル、ソフトテニス等の体つくり運動によって、体力の向上と協調性を図る

●評価規準（身に付ける力）

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価方法		授業に取り組む姿勢や意欲・態度 を総合的に判断する。	授業に取り組む姿勢や意欲・態度を総合的に判断する。	授業に取り組む姿勢や意欲・態度 を総合的に判断する。

単元別　評価規準

1　体つくり運動

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	体つくり運動に自主的に取り組むとともに、健康･安全を確保することを理解している。

２　選択種目

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	各種目について、記録向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。	各種目の自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとしている。

３　校外の体育施設における体験的授業

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	記録向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、などを理解している。	運動を通して自己や仲間との課題を発見し、身体を動かすことでのコミュニケーション方法を理解している。	自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとしている。
		※この単元の評価については、教科担当者だけでなく、職員全員の総合的な評価を行う。		

教　科 保健体育	科目	体育	（必修）	授業時数　２　単位 履修学年　４　学年

目　標	各種スポーツに取り組み、技能の向上、仲間との協調性を高め、自ら意欲的に課題解決できる能力を高め、生涯を通じて継続的に運動に親しむことができるようにする。

●学習内容

１学期　１２時間		２学期　１５時間		３学期　１２時間	
○オリエンテーション ○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル･卓球 ソフトテニス・キャッチボール等	12	○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル・卓球 ソフトテニス・キャッチボール等） ○校外の体育施設における体験的授業	13 2	○体つくり運動 ○選択種目（バドミントン・バスケットボール・フットサル・卓球 ソフトテニス・キャッチボール等） ○校外の体育施設における体験的授業	10 2

教材

授業の進め方

	・体育館にてバスケットボール、バトミントン、卓球、フットサル、ソフトテニス等の体つくり運動によって、体力の向上と協調性を図る

●評価規準（身に付ける力）

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価方法		授業に取り組む姿勢や意欲・態度 を総合的に判断する。	授業に取り組む姿勢や意欲・態度を総合的に判断する。	授業に取り組む姿勢や意欲・態度 を総合的に判断する。

単元別　評価規準

１　体つくり運動

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	体つくり運動に自主的に取り組むとともに、健康･安全を確保することを理解している。

２　選択種目

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	各種目について、記録向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。	各種目の自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとしている。

３　校外の体育施設における体験的授業

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	（身に付ける力）	記録向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、などを理解している。	運動を通して自己や仲間との課題を発見し、身体を動かすことでのコミュニケーション方法を理解している。	自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとしている。
		※この単元の評価については、教科担当者だけでなく、職員全員の総合的な評価を行う。		